



東証一部：9265

# 2021年 5月期 決算説明資料

2020年 6月 1日 ~ 2021年 5月31日

(2021年7月14日発表 決算短信に基づく補足説明資料)

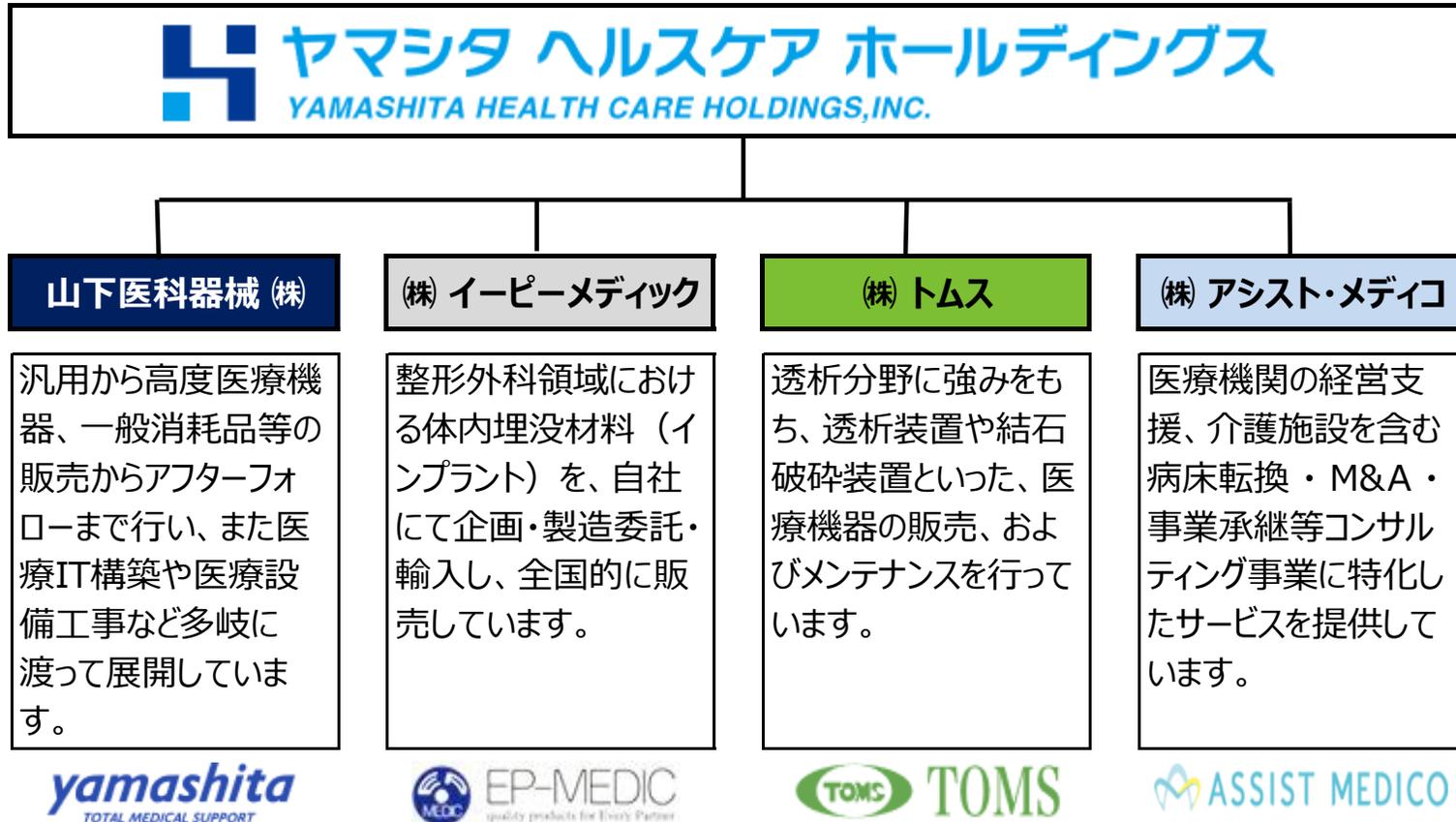
ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社



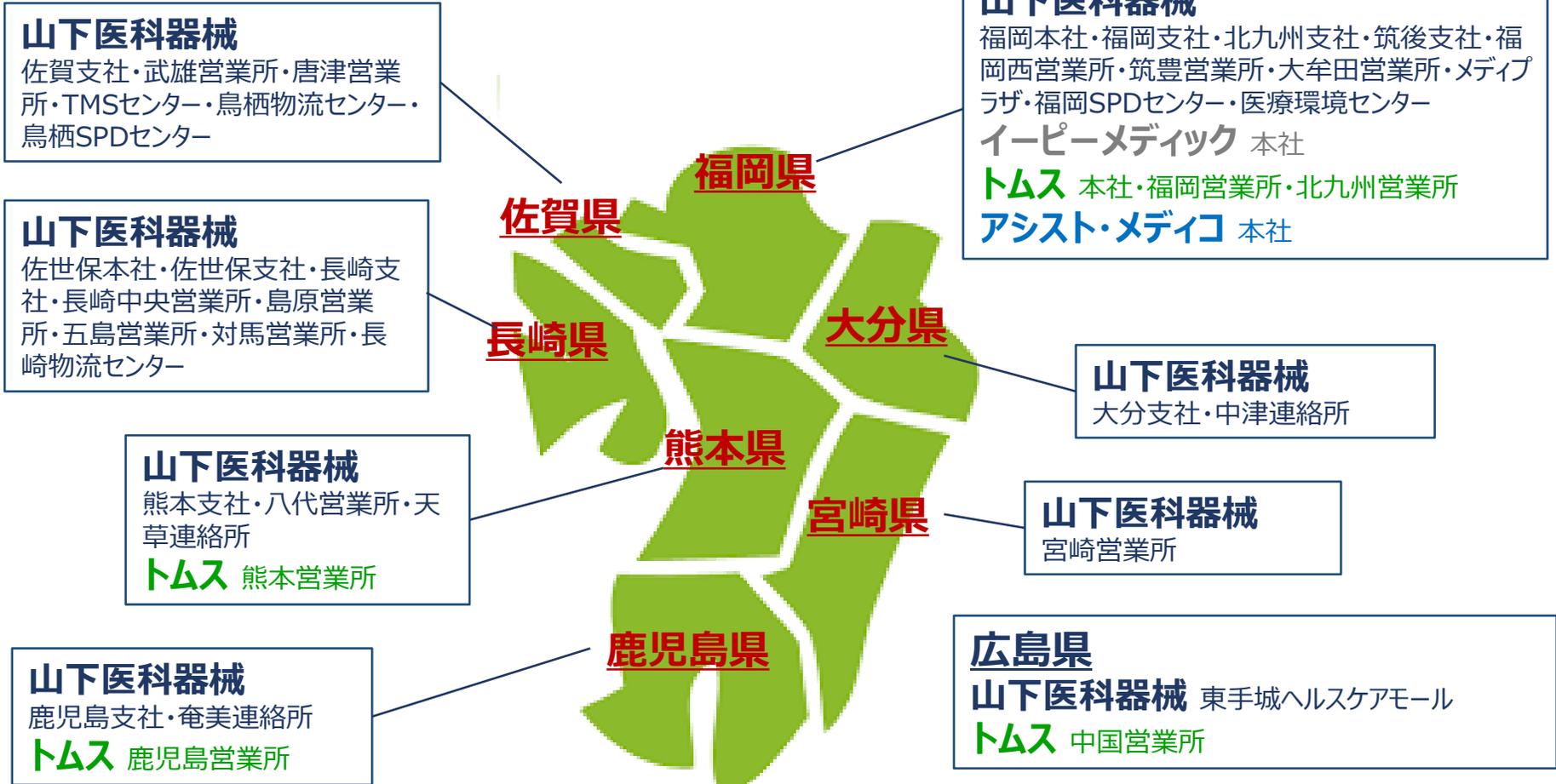
## 会社概要

会社名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル10階
資本金	4億9,402万5,000円
事業内容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業会社の経営管理、及びそれに付帯する業務
代表者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上場市場	東証一部
証券コード	9265
決算期	5月

# グループ概要



# 当社グループの事業拠点





# 1. 2021年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 今期の見通し
6. 当社に関するご案内

✓売上高、営業利益、経常利益、および当期純利益は、前期比すべて増加

(単位：百万円)

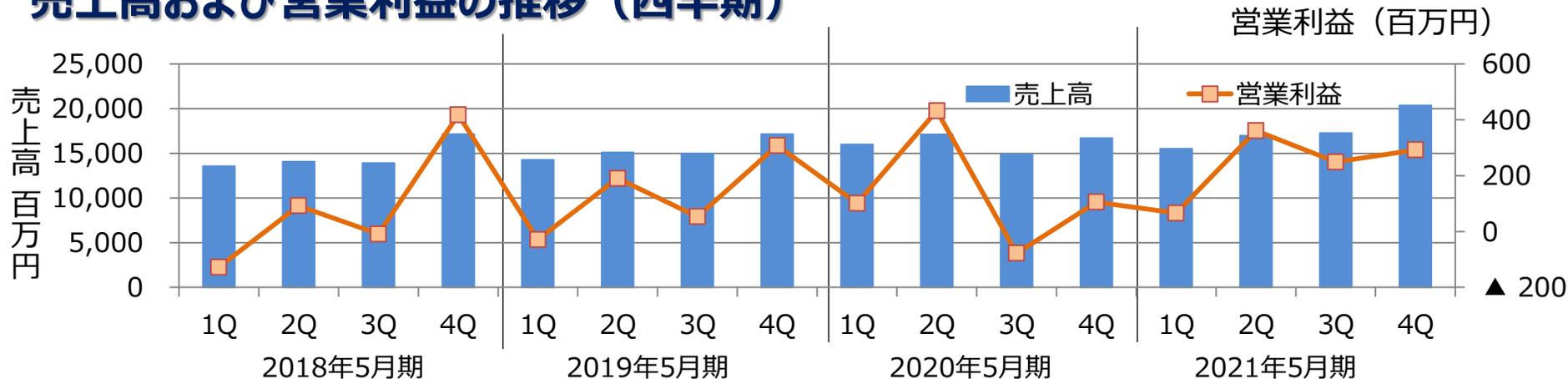
	2020年5月期 (第3期)	2021年5月期 (第4期)	対前年比 (%)
売上高	64,658	70,131	108.5%
営業利益	560	968	172.8%
経常利益	642	1,026	159.7%
当期純利益	459	678	147.6%
一株当たり当期純利益 (円)	180.07	265.77	147.6%
自己資本当期純利益率 (%)	6.9	9.3	134.8%

一株当たり当期純利益 (円) : EPS , 自己資本当期純利益率 (%) : ROE

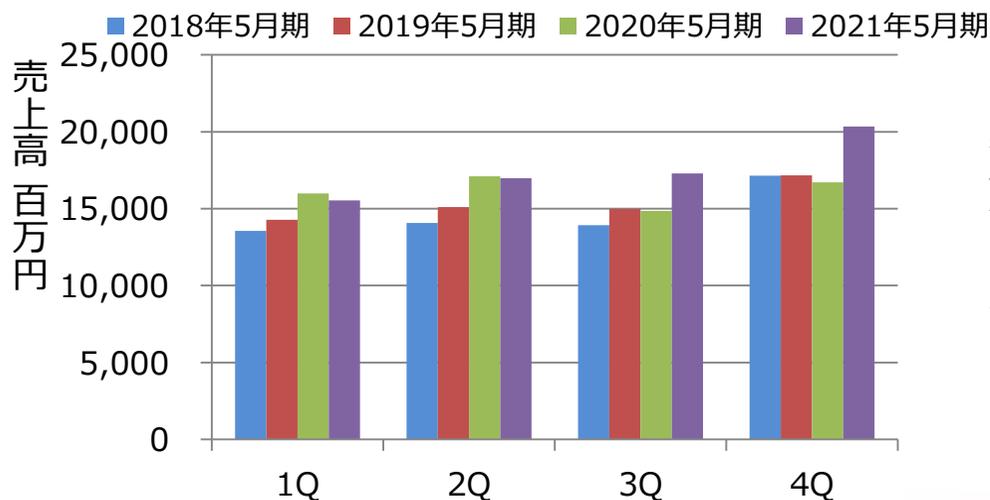
# 連結売上高・営業利益推移



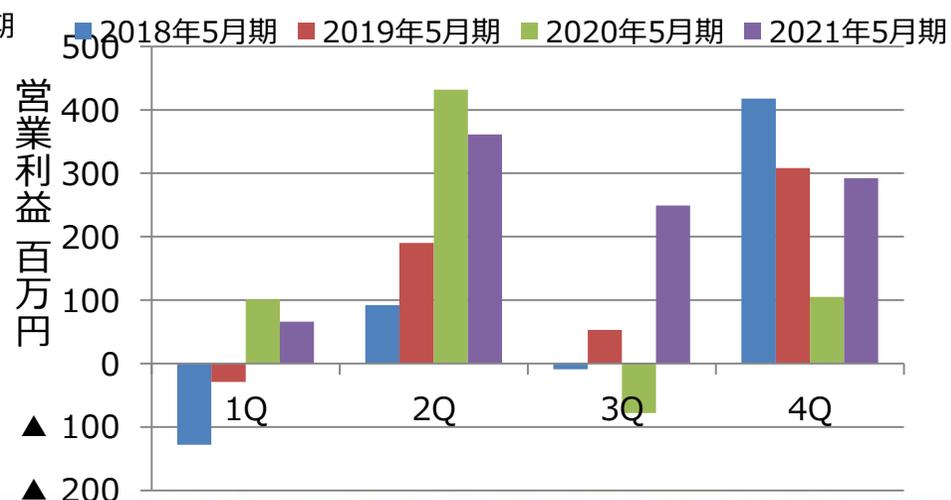
## 売上高および営業利益の推移（四半期）



## 売上高の推移（四半期別）

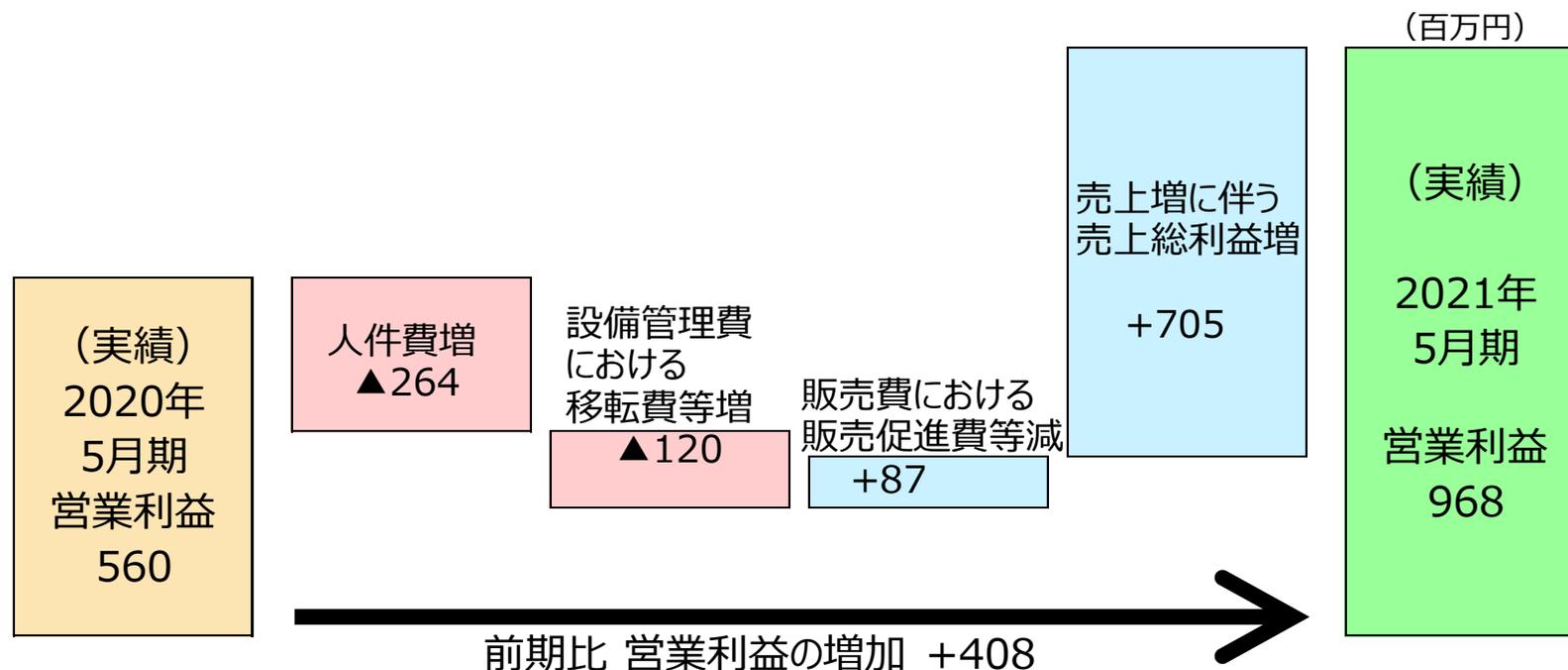


## 営業利益の推移（四半期別）



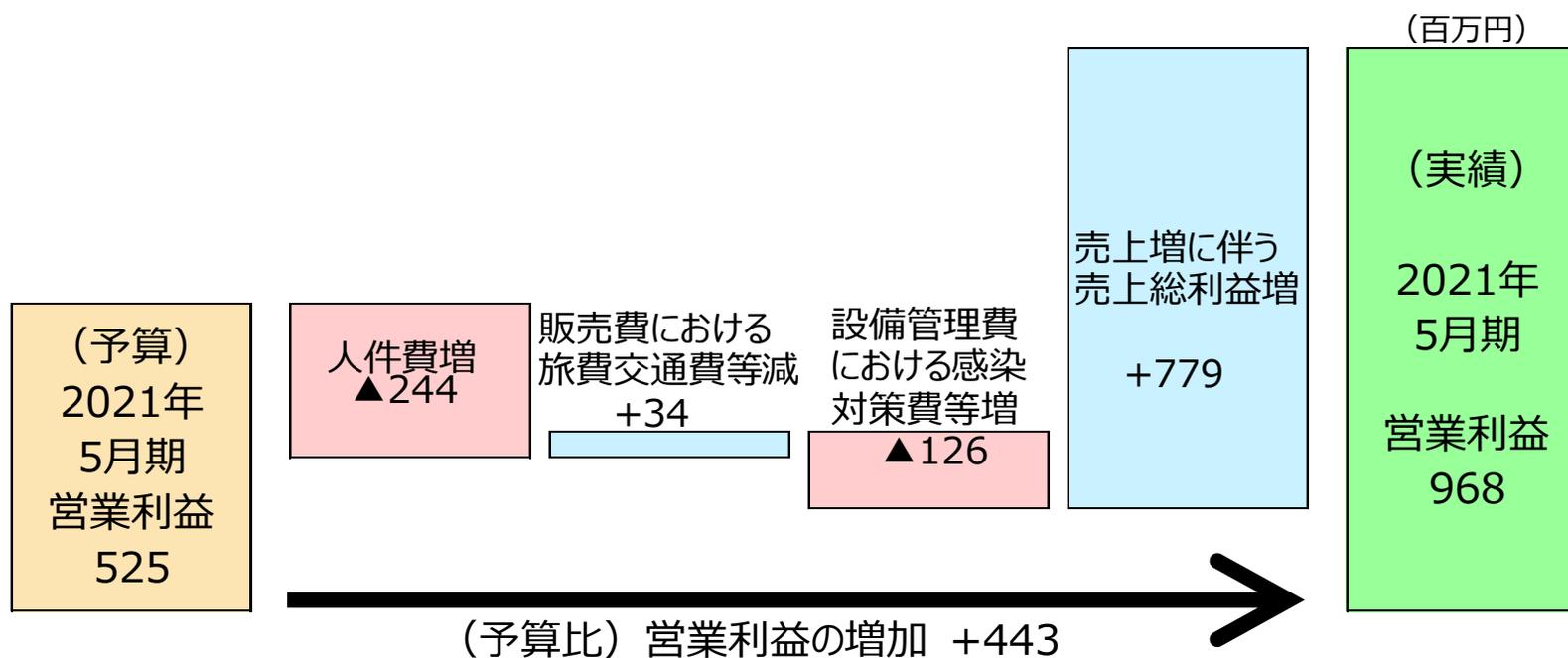


## ➤ 前期比 営業利益増の要因





## ➤ 予算比 営業利益増の要因





1. 2021年5月期 業績の概況

## 2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 新中期経営計画

5. 今期の見通し

6. 当社に関するご案内

# 事業分野別の販売実績

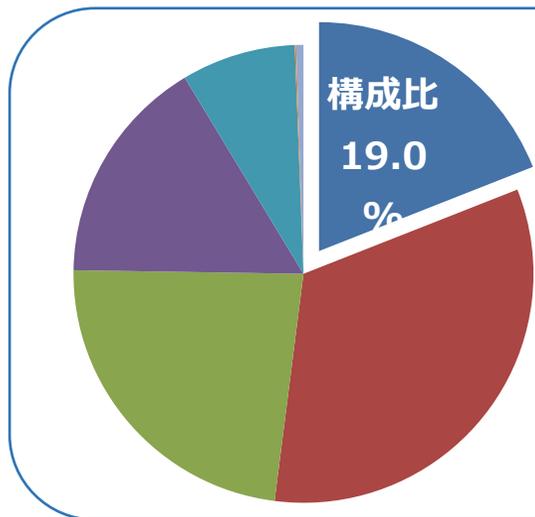


## 〔各事業分野別特記事項〕

- ✓一般機器分野：手術室関連等の医療機器備品や超音波診断装置等の診断機器の売上増
- ✓一般消耗品分野：感染対策関連消耗品の売上増
- ✓低侵襲治療分野：内視鏡関連備品や人工心肺装置等の循環器備品の売上増
- ✓専門分野：病理検査機器等の理化学備品や、レーザー治療機器等の皮膚・形成備品の売上増

(百万円)

事業分野別売上（連結）		2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
医療機器販売業	一般機器分野	9,731	10,764	13,331
	一般消耗品分野	21,623	21,887	23,150
	低侵襲治療分野	16,719	15,900	16,304
	専門分野	10,830	10,572	11,304
	情報・サービス分野	2,187	5,143	5,630
	小計	61,092	64,269	69,721
その他の	医療機器製造・販売業	374	326	359
	医療IT事業	73	71	67
	セグメント間内部取引額	▲ 7	▲ 8	▲ 16
	合計	61,533	64,658	70,131

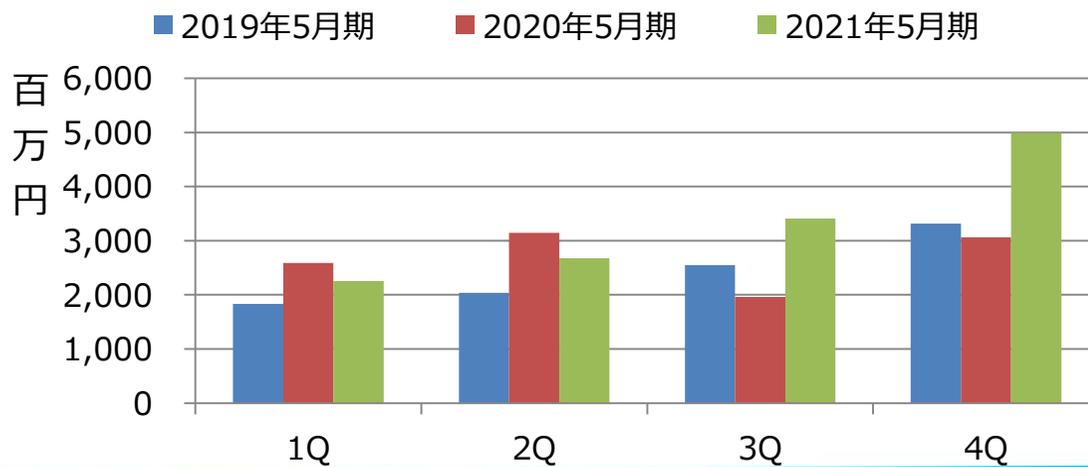


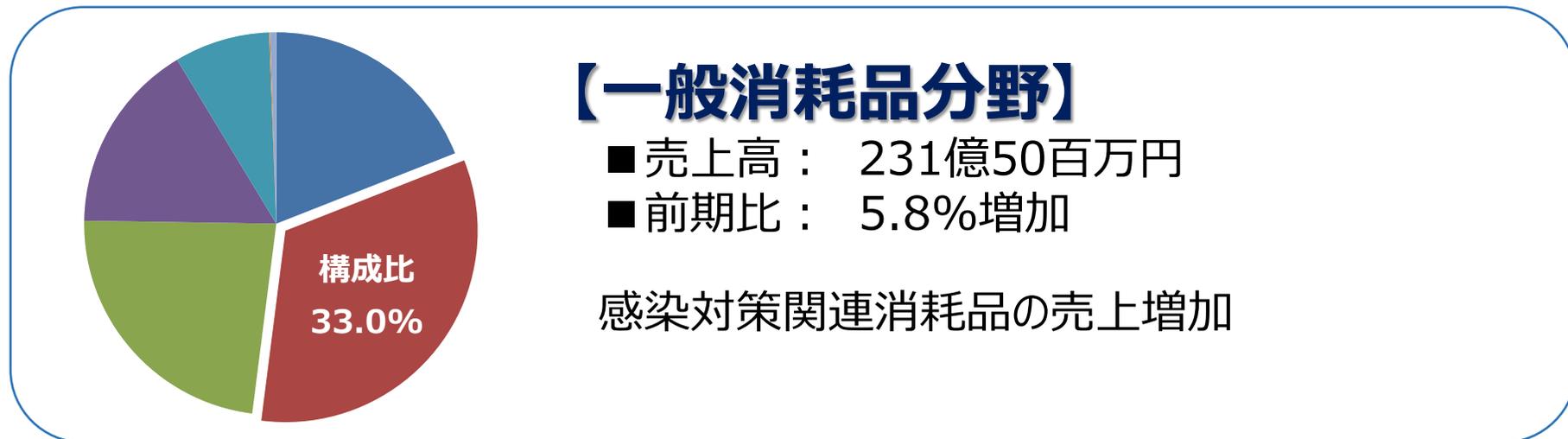
## 【一般機器分野】

- 売上高： 133億31百万円
- 前期比： 23.8%増

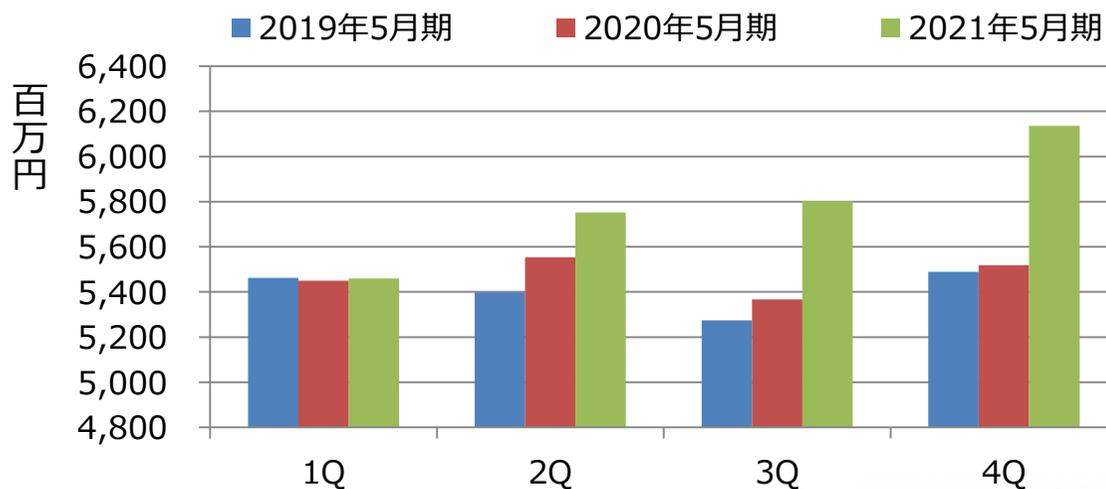
手術室関連等の医療機器備品や超音波診断装置等の診断機器の売上増加

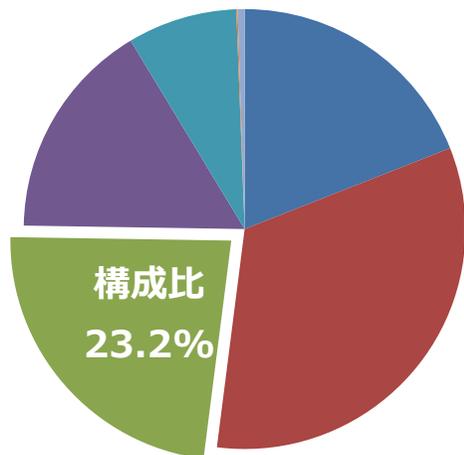
### ■ 一般機器の売上高推移（四半期別）





## ■ 一般消耗品の売上高推移（四半期別）



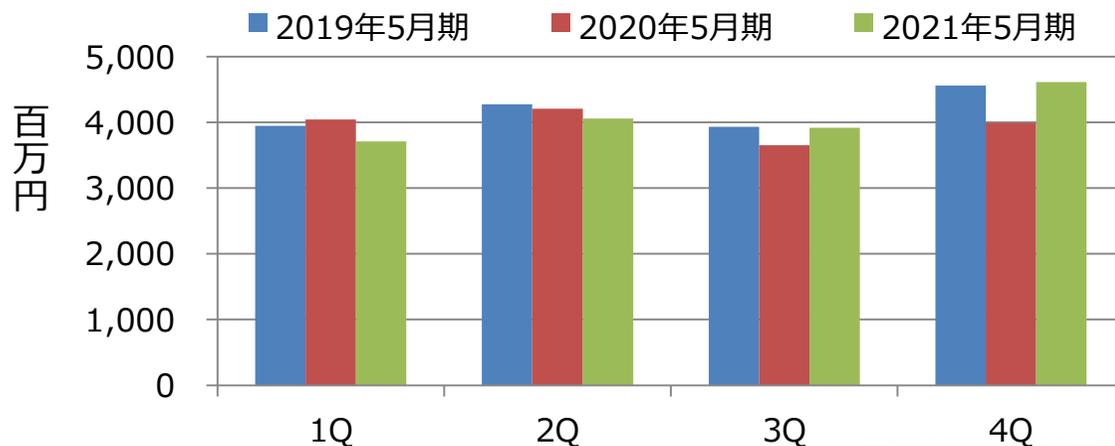


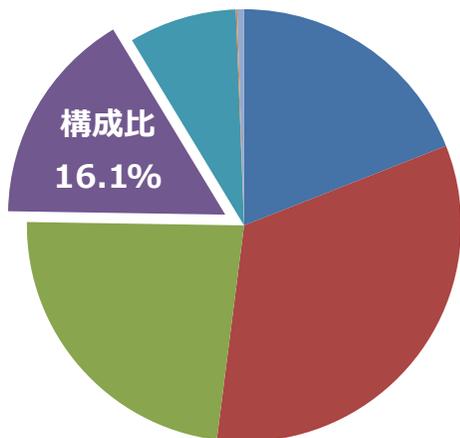
## 【低侵襲治療分野】

- 売上高： 163億 4百万円
- 前期比： 2.5%増加

内視鏡関連備品や人工心肺装置等の循環器備品の売上増加

### ■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）



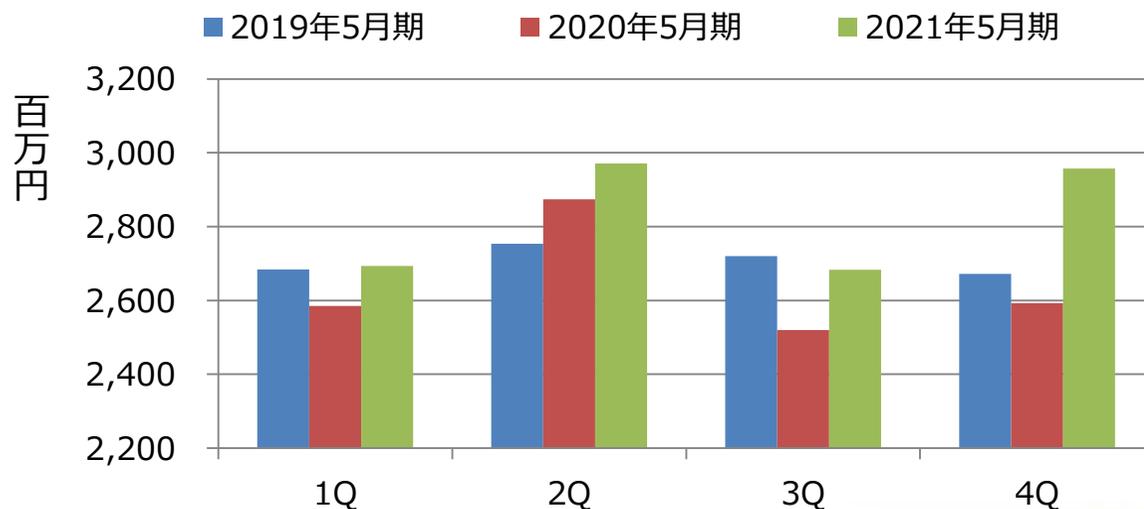


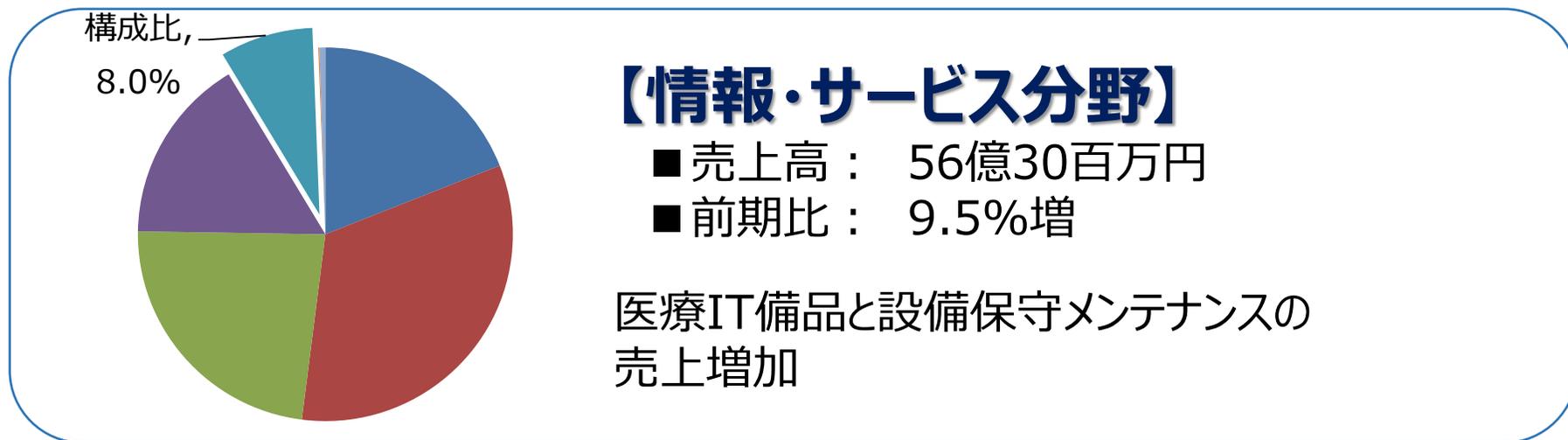
## 【専門分野】

- 売上高：113億4百万円
- 前期比：6.9%増加

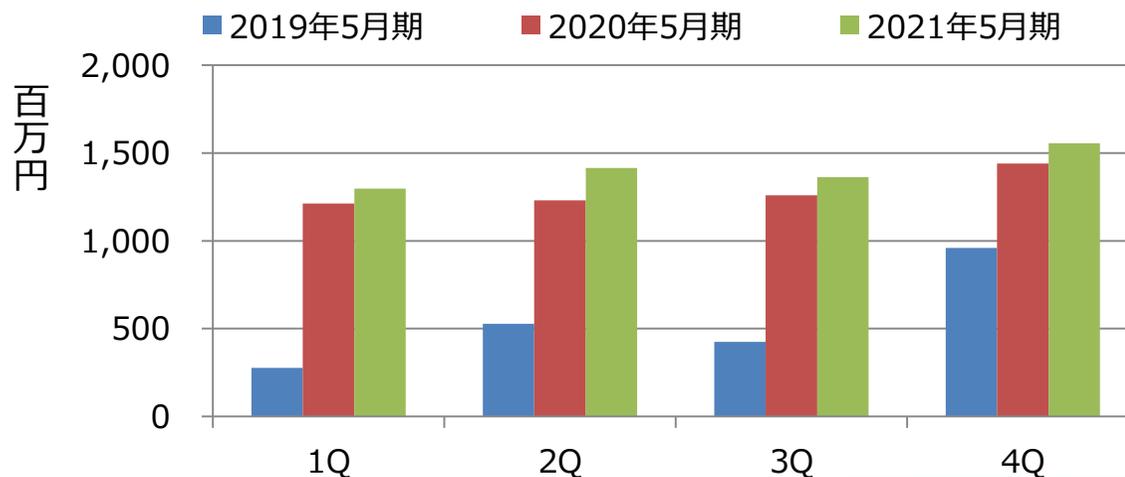
病理検査機器等の理化学備品や、レーザー治療機器等の皮膚・形成備品の売上増加

### ■ 専門分野の売上高推移（四半期別）





## ■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）

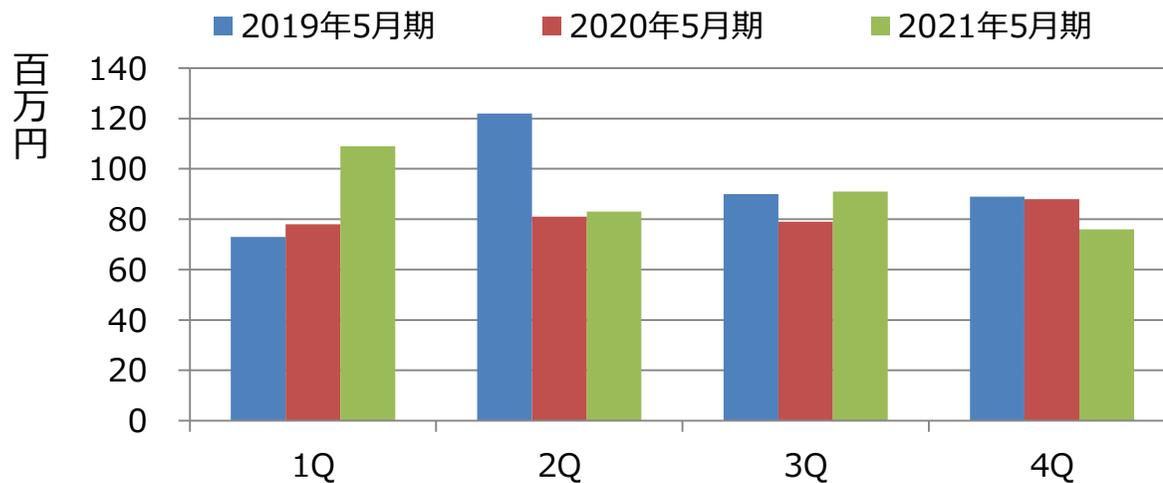


クラウド型電子カルテ



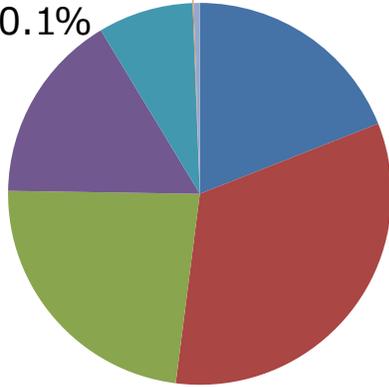


## ■ 医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）



構成比

0.1%



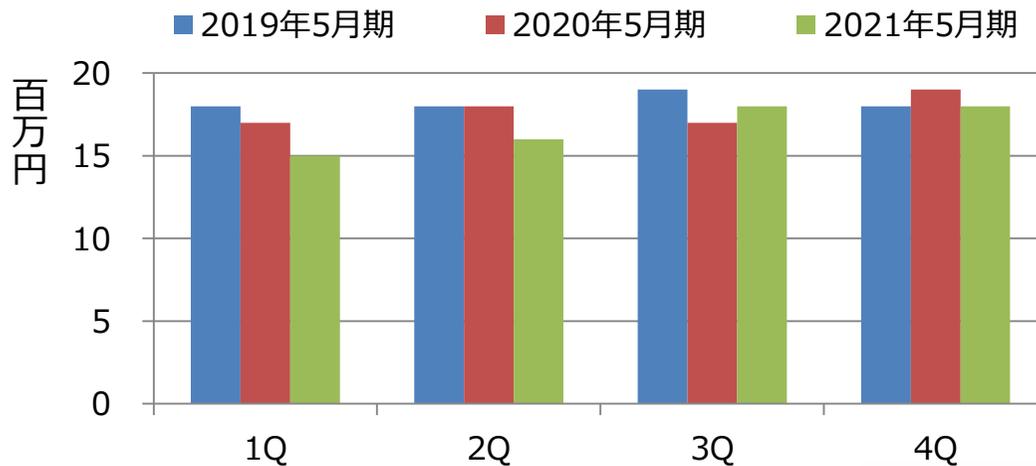
## 【医療モール事業】

■ 売上高： 67百万円

■ 前期比： 6.0%減

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営  
による賃料収入減少

### ■ 医療モール事業の売上高推移（四半期別）



1. 2021年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
- 3. 決算概要**
4. 新中期経営計画
5. 今期の見通し
6. 当社に関するご案内

# 連結損益計算書



(百万円)

	2020年5月期	2021年5月期	対前期比 (%)
売上高	64,658	70,131	108.5%
売上総利益	6,805	7,510	110.4%
販売管理費	6,244	6,541	104.8%
営業利益	560	968	172.8%
経常利益	642	1026	159.7%
税引前当期純利益	642	1051	163.7%
当期純利益	459	678	147.6%
EPS 一株当たり当期純利益 (円)	180.07	265.77	147.6%
ROE 自己資本当期純利益率 (%)	6.9	9.3	134.8%

# 連結貸借対照表



(百万円)

	2020年5月期		2021年5月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産	16,071	75.0%	18,987	78.1%
現金・預金	3,012	14.1%	3,652	15.0%
売上債権	10,148	47.4%	12,153	50.0%
棚卸資産	2,727	12.7%	2,916	12.0%
固定資産	5,354	25.0%	5,334	21.9%
有形固定資産	3,537	16.5%	3,512	14.4%
総資産	21,425	100.0%	24,322	100.0%
流動負債	13,735	64.1%	16,251	66.8%
仕入債務	12,411	57.9%	14,495	59.6%
短期借入金等				
固定負債	751	3.5%	491	2.0%
長期借入金等				
負債合計	14,486	67.6%	16,742	68.8%
純資産合計	6,938	32.4%	7,579	31.2%
負債及び純資産合計	21,425	100.0%	24,322	100.0%

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2020年5月期	2021年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	911
税引前当期純利益	642	1051
売上債権の増減額 (▲は増加)	6	▲ 2005
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	▲ 258	▲ 200
仕入債務の増減額 (▲は減少)	295	2081
法人税等の支払額	▲ 326	▲ 258
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 33	▲ 134
有形固定資産の取得による支出	▲ 30	▲ 145
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 107	▲ 137
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	677	639
現金及び現金同等物の期末残高	3,012	3,652



## **【方針①】株主資本利益率（ROE）10% を目標**

- ✓ 健全な財務体質を維持しつつ、収益構造を見直し、株主資本の効率的運用により企業価値を向上させる

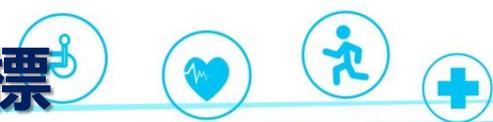
## **【方針②】自己資本比率 30%以上の維持**

- ✓ 環境が更に厳しくなることが予想される中、財務基盤の安定性を重視

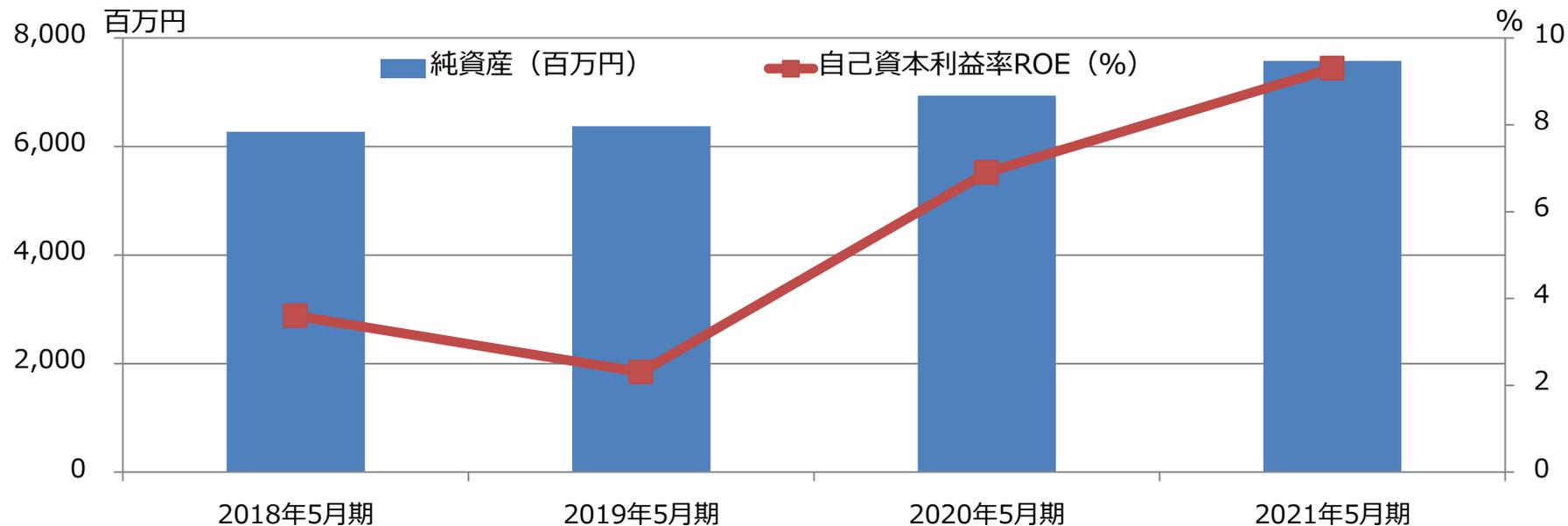
## **【方針③】配当性向 30%**

- ✓ 株主・社員・会社の三者のバランスを重視した利益還元を維持

# 方針① 株主資本利益率（ROE）10%を目標



## 堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

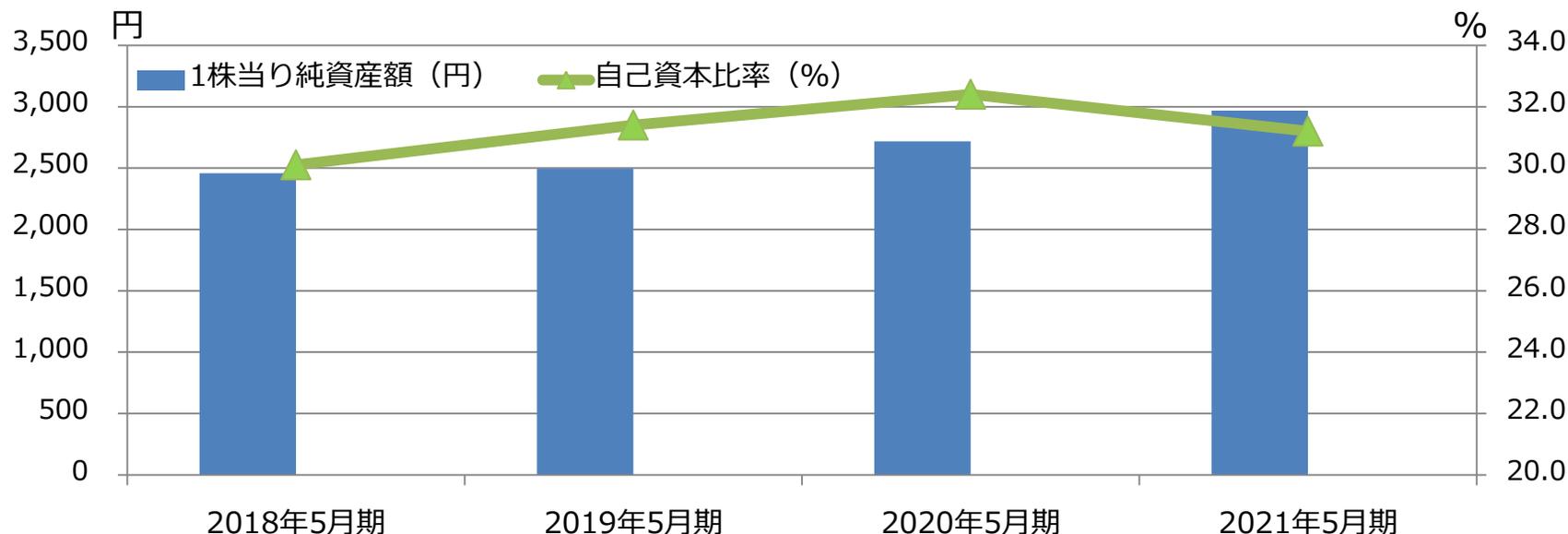


	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
純資産（百万円）	6,273	6,372	6,938	7,579
自己資本利益率ROE（%）	3.6	2.3	6.9	9.3

# 方針② 自己資本比率30%以上の維持



## 健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める

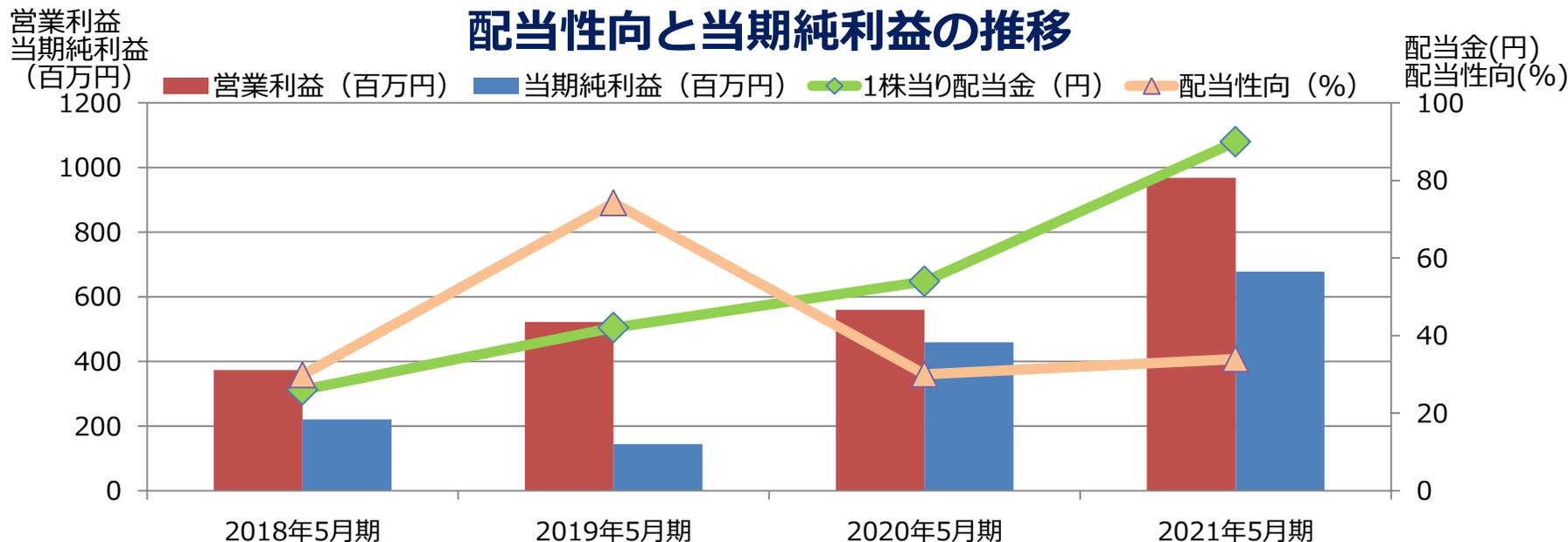


	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
1株当り純資産額 (円)	2,457	2,496	2,717	2,969
自己資本比率 (%)	30.1	31.4	32.4	31.2



## 配当の安定性に配慮

### 配当性向と当期純利益の推移



	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
1株当り配当金 (円)	26	42	54	90
営業利益 (百万円)	373	522	560	968
当期純利益 (百万円)	220	144	459	678
配当性向 (%)	29.9	74.2	30.0	33.9

1. 2021年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
- 4. 新中期経営計画**
5. 今期の見通し
6. 当社に関するご案内



2024年5月期に向けた新中期経営計画では、次のような「基本方針」「主要施策」「業績目標」を掲げております。

## **【基本方針】**

**「持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向けヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る」**

## **【主要施策】**

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) グループ経営管理機能の強化
- (4) ダイバーシティ環境の実現
- (5) ESG 経営への取り組み
- (6) 戦略的人材マネジメントの確立



## 【業績目標】 本計画最終年度となる「2024年5月期の業績目標」

	「収益認識に関する会計基準」	
	勘案前	勘案後 ※
(1) 連結売上高	67,500百万円	52,000百万円
(2) 連結営業利益	620百万円	620百万円
(3) 連結経常利益	680百万円	680百万円

※当社は2022年5月期より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、上記の予想は当該会計基準等に基づいた予想となっております。

当期の売上高（701億31百万円）を当該会計基準等にて試算した場合、次期売上高の増減は7.6%減の見通しとなります。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該会計基準等適用による影響はございません。



1. 2021年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
- 5. 今期の見通し**
6. 当社に関するご案内



## 〔新型コロナウイルス感染症の影響〕

現在、国内では新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、ワクチンの接種が進められておりますが、今後の感染状況の見通しは、未だ不透明な状況にあります。

当社グループといたしましては、引き続き医療材料の安定供給体制の確保に努めるなど、地域医療を支えるべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。



## 【2022年5月期 業績見通し】

売上高	498億38百万円※
営業利益	5億42百万円
経常利益	5億84百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3億46百万円

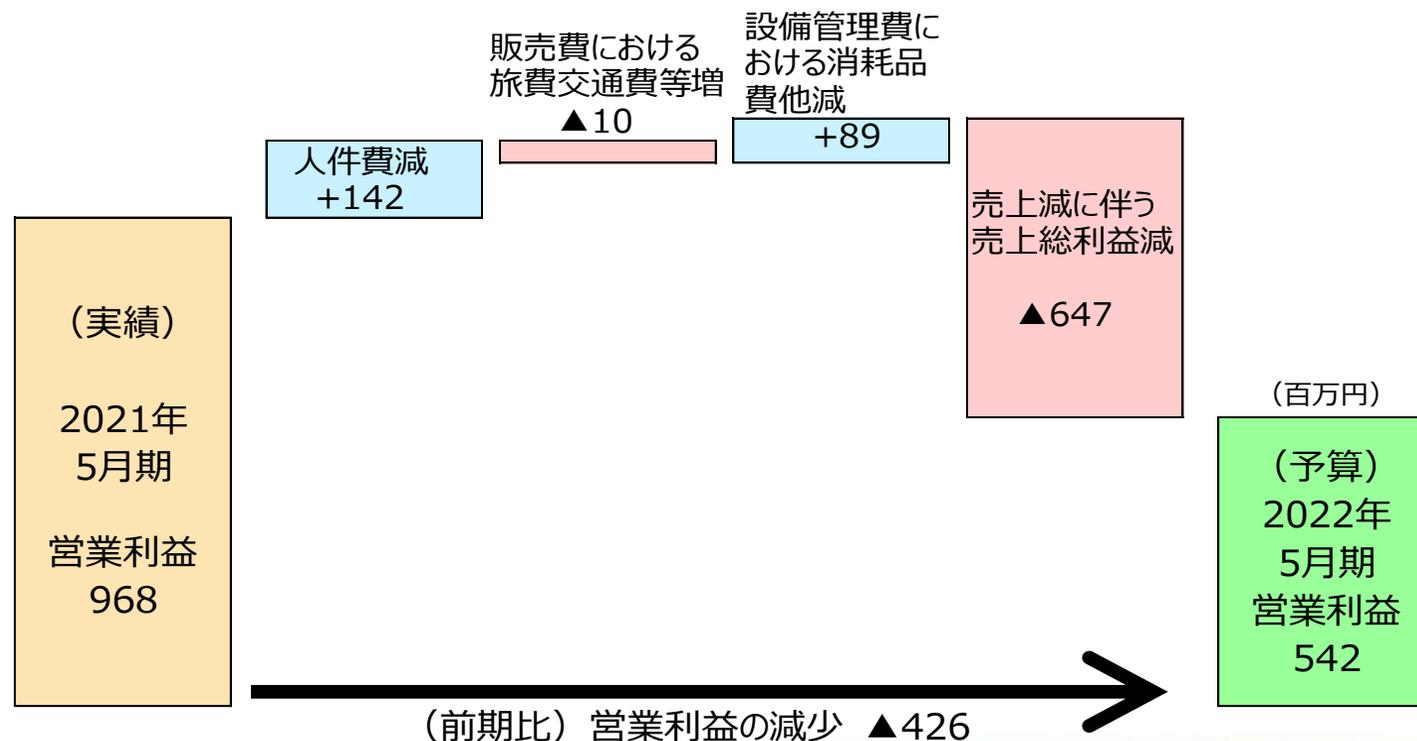
※次期予想売上高は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用した予想となっております。

旧会計基準にて試算した場合、**次期予想売上高は約648億6百万円**の見通しとなります。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該会計基準等適用による影響はありません。



## ➤ 前期からの減収減益要因

- 前期はコロナ関連商品の需要増加があったが今期は見込めず
- 通常診療や手術症例等の減少による消耗品の販売減少
- 売上減少に伴う売上総利益が減少を予想



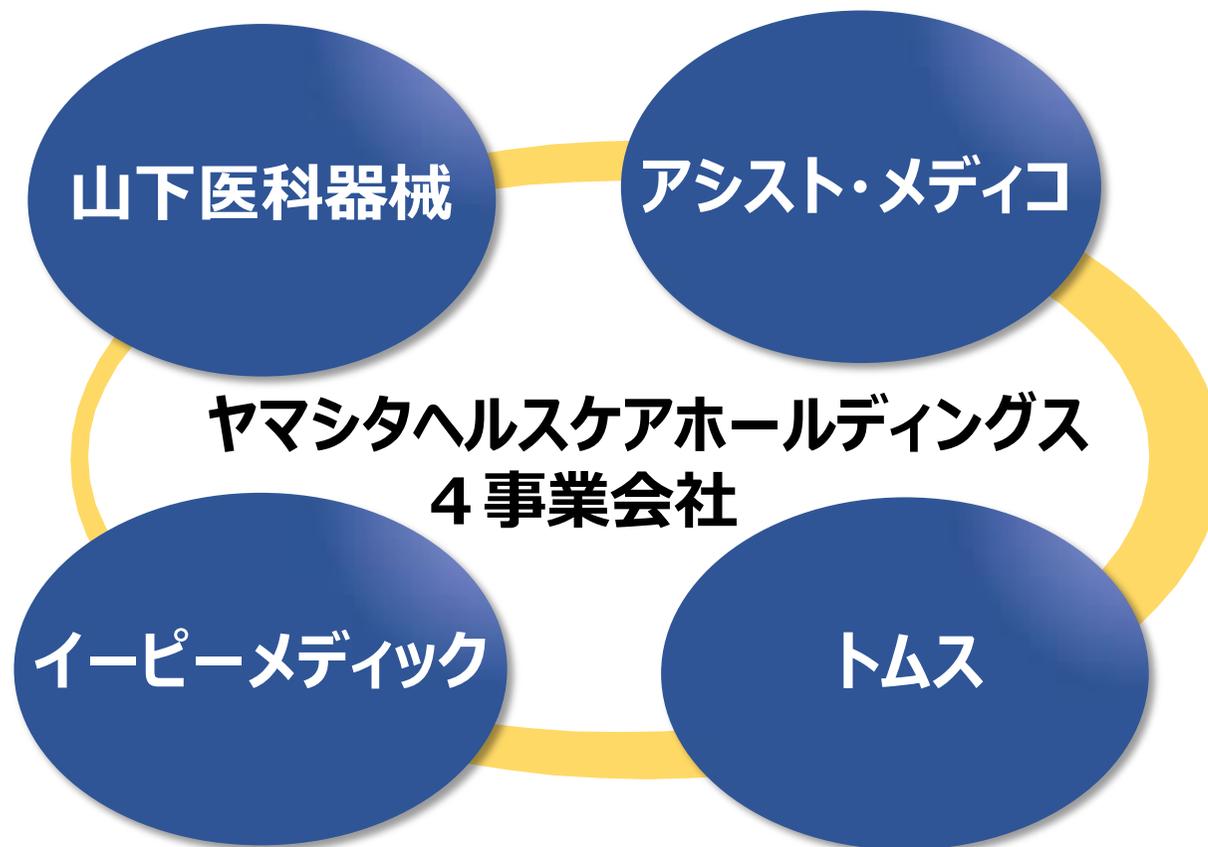


## 〔今期の主な施策〕

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) 経営管理機能の強化
- (4) 戦略人事及びダイバーシティ環境の推進
- (5) 物流体制の更なる強化
- (6) ESG経営への取り組み



## (1) グループの一体化と戦略機能の強化



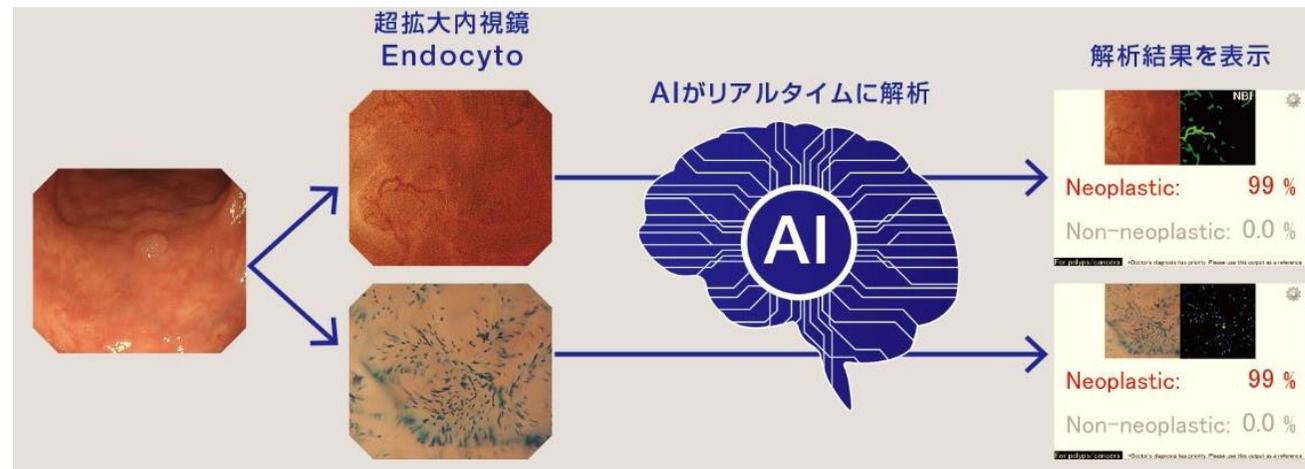
情報共有および相互補完、事業会社が本業に集中できる環境の構築、そして経営管理機能を強化します。  
グループ間の連携を強め、シナジー効果をもたらすことにより、事業収益力の向上を図ります。

## (2) 重点事業領域の拡充

急性期病院の手術室や検査室をトータル・コーディネート

✓高度医療機器や低侵襲治療機器等の主力商品導入を支援

✓内視鏡画像を**人工知能 (AI)** で解析し、医師の診断を補助する内視鏡画像診断支援ソフトウェアなど、高い診断精度を導く製品を提案



オリンパス(株)内視鏡画像診断支援ソフトウェア より



## (2) 重点事業領域の拡充

✓「**自然落下制御式輸液装置**」の市場拡大を図るべく、医療及び介護関連施設に向け、同装置のレンタル事業を全国独占展開しています。



✓NTT東日本との協業「**医療機関向けICTサービス**」は、医療機関で求められているWi-Fi環境の導入から運用までを一括サポートするサービス「**MediらくWi-Fi**」、そしてクラウド上で映像を管理し、導入の障壁が低く、トラブル防止に活用できる「**Mediらくカメラ**」を提供しています。



✓「**注射調剤・監査支援システム**」は、薬品の取り揃えを確実にサポートするとともに、多方面からの処方監査機能を充実させるものです。注射払出支援のみでなく処方監査、モニタリング機能を強化し、相互作用チェック等を行い、医療事故につながりかねないインシデントを未然に防ぐ機能を有しています。



注射調剤・監査支援システム iPZS  
Injection Pharmacy Zipang System



## (3) 経営管理機能の強化

### グループ会社を統括する部署を新設

- \*「人事戦略本部」
- \*「事業戦略本部」
- \*「DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進室」

## (4) 人事及びダイバーシティ環境の推進

- ◆ 多様な研修体制でキャリア形成を支援
- ◆ 人事戦略本部が戦略的な人事管理推進
- ◆ 健康的に働くことができる職場環境創造
- ◆ 若年層・女性・シニアが活躍できるダイバーシティ環境の実現

## (5) 物流体制の更なる強化

※SPD  
Supply Processing & Distribution の略



- ✓ 非常時における安定供給確保
- ✓ 納期短縮かつ顧客の利便性向上
- ✓ 医療機関をサポートする多品種少量管理
- ✓ MAL事業部による事業推進と効率化

※MAL  
Medical Active Logistics の略



## (6) ESG経営への取り組み

当社およびグループ各社は、「地域のヘルスケアに貢献する」企業として、医療機器をはじめとする関連サービスの安定的な供給を通じて、SDGsの目標でもあるサステナブルでよりよい社会を目指し、社会課題の解決に貢献できるよう努めてまいります。

### ESG基本方針



〔**E**nvironment : 環境に対する方針〕

『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

〔**S**ocial : 社会に対する方針〕

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組みます。』

〔**G**overnance : ガバナンスに対する方針〕

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』



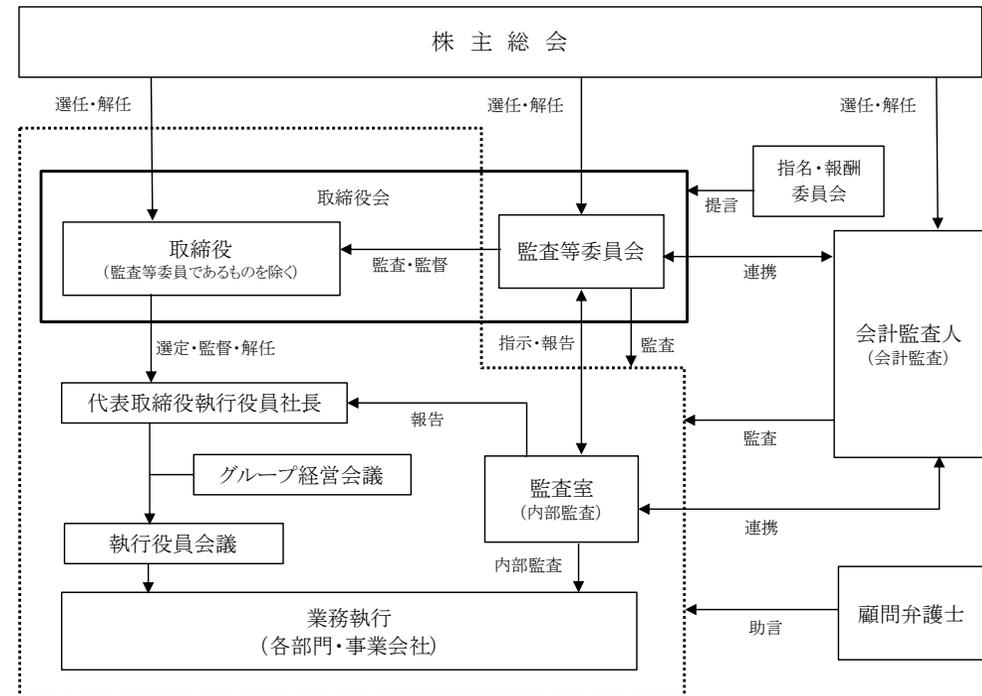
1. 2021年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 今期の見通し
- 6. 当社に関するご案内**

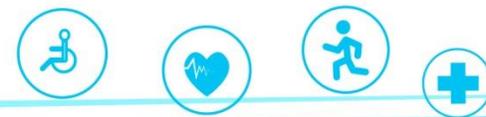
# コーポレート・ガバナンス体制

当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組みます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。



コーポレートガバナンス体制の模式図





## コロナ禍における当社方針・体制

当社は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に対し、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、基本方針を掲げるとともに、当社グループ各社において様々な対策を行っております。

お客様、お取引先様、全従業員とそのご家族の安心・安全を確保しながら、医療機器、医療消耗品等の安定供給に努めております。

### **【基本方針】**

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、正社員、パート社員及び派遣社員を含むグループ全従業員とそのご家族の安心・安全確保を基本方針とする。

また、当社は基本方針の他、予防対策などを定め、併せて従業員本人及び家族に感染・濃厚接触の疑いがある場合は、国・各都道府県・医療機関等への報告・相談・指示に従って対応すると同時に、会社へ報告することを義務付けており、社内における状況把握をおこなっております。



## 『社会貢献債』への投資について

当社は、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行する、ソーシャルボンド（社会貢献債）※へ投資いたしました。そして、JICAが調達した資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されるものです。当社及び当社グループは、今後も本債券をはじめとした社会貢献債等へのESG投資や、その他事業活動を通じて、環境や社会問題への取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献します。

※ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への、投融資に利用されることを前提として発行される債券です。



学校建設/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



井戸開発/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



# 株主優待制度

## 〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施いたします。

## 〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。  
（当社オリジナルクオカード）

	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当

- ※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。
- ※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。
- ※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。

## 〔株主優待の適用時期〕

継続保有期間の判定は、2018年5月31日を起算日とさせていただきます。

※証券会社の貸株サービスをご利用の株主様は、株主優待の対象から外れる場合がございますので、詳しくはご利用の証券会社にお尋ねください。



## 最後に

本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。  
今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。  
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

### お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922

F A X : 092-402-2962

E - M A I L : [legal@yamashitaika.co.jp](mailto:legal@yamashitaika.co.jp)

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>

